

広島県立世羅高等学校卒業 貞宗 貴大さん（農事組合法人 世羅幸水農園）



貞宗 貴大（さだむね たかひろ）さん（19歳）は、広島県立世羅高等学校の農業経営科を卒業した後、地元の農事組合法人「世羅幸水農園」に就職就農しました。入社して1年が過ぎようとしていますが、若手のホープとしてナシ栽培を中心とした職務に勤しんでいます。

○貞宗貴大さんの就農までの道

農業高校
（世羅高等学校）

就農
（農事組合法人 世羅幸水農園）

農業関連学科に入学しようと思ったキッカケは？

私は世羅町で生まれ育ちました。世羅町が大好きで、将来もこの町で生きていきたいと考えていたので、町の基幹産業である農業の事が学べる世羅高校の農業経営科に進学しようと考えました。もともと、農業に興味があったことも農業経営科に興味を持ったきっかけです。

高校や大学校で学んだことは？

高校では栽培の基本について学びました。発芽の3条件（酸素、温度、水分）や肥料の必須要素、光合成の重要性など、作物栽培は生物学とも深く関連していることを実感し、実体験を通して農業に関する理解をより深める事ができました。3年次に取り組んだプロジェクトのテーマは「カブトムシ養殖プロジェクト」で、プロジェクト学習を通して、仲間と協力しながらチームワークを高める方法を学んだり、厳しい天候でも実習をやり抜くことで体力や忍耐力を備えたりすることができました。

今の仕事の中でやりがいを感じることは？

幸水農園の栽培の中心はナシです。私は、収穫された“幸水”や“豊水”などのたくさんのナシをフォークリフトで選果場へ運搬しています。選別されていく梨を見ていると、その先に消費者の喜んで下さる顔が浮かんで来て、この仕事をやっていてよかったなと感じます。また、観光で来てくださる方が、喜んでナシを収穫し、美味しいといって食べてくださっているときも、やりがいを感じる事ができます。



就農先の紹介

農事組合法人「世羅幸水農園」は、昭和38年に設立されました。農地面積は100haを越え、ナシを中心とした果樹栽培を行っています。ナシの他にもブドウやイチゴ、リンゴ、モモなども栽培しています。また、観光農園としても有名で、春はイチゴ、夏から秋にかけてはブドウやナシの収穫体験ができ、多くの観光客の方々に喜んでいただいています。